

### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

#### 主任教授・男性

##### \*\*良くなった

- ・「管理」業務については少し楽になった。
- ・1時間半の会議のために日帰り東京出張する事が激減し、管理業務に使える時間が増えた。
- ・ICT機器、ソフトの利便性が格段に向上し、業務を遂行しやすくなった。
- ・いわゆる会議はオンラインでも十分機能し、無駄な移動時間が削減された
- ・オンラインでも若手医師との容易に面談ができるのはよいこと。
- ・オンラインで移動などの時間が削減されたため
- ・オンラインとなることで移動時間が短縮、もしくは必要なくなった
- ・オンラインのため、職場に滞在する時間が長くなった。
- ・オンラインの会議で効率が上がった
- ・オンライン会議が主体となり、参加しやすくなった。
- ・オンライン会議が増えて、時間の節約になった
- ・オンライン会議が増え移動時間が減った。
- ・オンライン会議の推進で、無駄な時間が減った
- ・オンライン会議は圧倒的に便利
- ・かえって多くの人と話す機会が増えたので。ただし、プライベートな語りは減少。
- ・たいてい意味のない会議に出席する必要がなくなった
- ・どこからでも会議に参加できるので、参加率が高くなった。
- ・とりあえず参加人数が数値化でき、管理は容易になった。
- ・リモート参加が可能になり、管理に費やせる時間が増えたから
- ・移動(出張)の減少などにより時間節約ができることになった利点は大きいと感じている。
- ・移動がないことがメリット。もちろん全部オンラインは良くない。
- ・移動がなく出席出来るようになった
- ・移動が不要。管理会議は、直接会ったりする必要はあまりない。
- ・移動などの無駄な時間が少なくなった
- ・移動にかかる時間の制限がないから
- ・移動に費やす時間が少なくなったため、その時間を管理業務へ振り分けることができている。
- ・移動の時間がなくなって余裕ができた
- ・移動の時間が少なくなった分、病院にいらることができる。
- ・移動の時間を減らすことで効率化が得られている。
- ・移動の時間を節約できたため
- ・移動の手間が削減された
- ・移動時間がなくなり、院内にいる時間は増えた。
- ・移動時間がなくなり管理に割ける時間は増えた。
- ・移動時間がなくなり管理他に対応しやすい
- ・移動時間が減ったため、その分の時間を使えるようになったから。
- ・移動時間が減って、時間調整がしやすくなった
- ・移動時間が節約できるようになった。
- ・移動時間が他業務に割けるようになった。
- ・移動時間の削減効果が大
- ・移動時間の節約が管理業務にも良い影響がある
- ・移動時間の短縮のより時間的余裕ができた。
- ・移動時間の分の時間を使える
- ・移動時間の無駄がなくなった。
- ・移動時間をあまり気にしないで良いのは、現場管理する側としては有難いです。
- ・移動等がないことで、管理業務に回す時間を持ちやすくなった。
- ・遠くまで出張することは少なくなった
- ・往復の時間がなくなって時間が有効に使える
- ・会議がオンラインで行えることで時間短縮になっている。
- ・会議がオンラインになり、出張回数が減った

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 会議がオンラインになり効率が上がった。
- ・ 会議そのものが簡素化された
- ・ 会議で縛られる時間が減った。
- ・ 会議のための出張が減少した。
- ・ 会議の効率化や資料のペーパーレス化が進んだ。
- ・ 会議への出席は楽になった
- ・ 会議出張は減少し時間が効率的になった。
- ・ 海外を含む出張に機会が減り、時間と体力の節約になった。
- ・ 開催地へ移動する必要がなく、大学を離れる必要がなくなった。
- ・ 学会参加のためのシフト調整は減りました。その分、自分の時間を使って学習するため、今まで就業時間内で参加していたものを、時間外に、手当なしで参加している事になっており、個人の負担は増えていると思います。
- ・ 学会参加の移動時間を管理業務にあてることが可能
- ・ 学内にいる時間が増えた
- ・ 管理しやすくなった
- ・ 管理に関わる時間が増えた
- ・ 管理業務もオンライン会議や学会参加の直前までできるようになった。
- ・ 管理業務時間が増えた
- ・ 管理系の会議の半分は、日本型の「情報共有型」であり、このタイプの会議はオンラインで十分。
- ・ 教室内の会議がし易くなった。
- ・ 教授会等が効率的になった。
- ・ 教授会等はオンラインの方が効率良い。
- ・ 現場での管理時間が増えた
- ・ 交通時間がいらぬ
- ・ 効率的に情報収集できるようになったため。
- ・ 事務作業に充てられる時間が増えた
- ・ 時間、場所の制限がなくなった
- ・ 時間が確保しやすくなった
- ・ 時間が効率的に使える
- ・ 時間が有効に利用できるため。
- ・ 時間の自由度が増えた。
- ・ 時間的な節約ができるので、他業務に使える時間が増えたため。
- ・ 出かけずに学会参加できる
- ・ 出張に要する時間が減る、健康にいい
- ・ 場所と時間の制約が減少したため
- ・ 情報共有がメインの会議の簡略化
- ・ 職場にいつもいるので、常に目を光らせることができる。
- ・ 多くの会議に効率的に参加できるようになり移動の時間が減らせた
- ・ 多様な管理が実現できた。
- ・ 大学にいる時間が増えたから。
- ・ 短時間の会議で遠方にまで出張しなくて良くなった。
- ・ 当然、オンライン参加するし、学会関連の会議は夜に行われることが多くなったので特に管理業務を含め、診療、教育にも影響が少なくなった。しかし、これは働き方改革としては逆行していることである。
- ・ 不要な移動がなくなり、その分の業務時間の確保ができるようになった。
- ・ 並行しての作業が可能になった部分がある
- ・ 本来不必要な業務がオンラインで可能になり負担軽減したため
- ・ 無駄な遠方の学会に行かなくてよくなったから。
- ・ 無駄な会議が減少した一方で、多くは時間外に設定され毎晩 21 時頃まで会議している
- ・ 無駄な会議に出席するための移動時間が減少した
- ・ 無駄な会議への出席が減った。
- ・ 無駄な時間がなくなった
- ・ 無駄な出張が減少し、院内業務に時間を使える

### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

#### \*\*変わらない

- ・ 管理業務と関係ない
- ・ オンラインの会議が増えたからと言って特に管理業務には影響しないと思う
- ・ オンラインの会議が多くなって出席しやすくなったが、その分会議の数が増えている
- ・ その分、コロナ対応に関する管理業務が顕著に増えた。
- ・ やることは変わらない
- ・ 以前から全力なので
- ・ 以前よりメールでの照会が多くなった
- ・ 移動の時間が減って効率が良くなったという良い部分と、情報が一方方向性で話し合いの場が減ったという悪い部分で相殺している。
- ・ 医局で話し合う時間帯、検討事項、連絡事項などは変わらないため
- ・ 会議などでどうしても必要な人材はオンラインでもオンサイトでも出席出来る時刻を調整するため。
- ・ 会議の回数が増えたため(新型コロナウイルス感染症も大きな要因)
- ・ 管理に費やす時間は変わらない
- ・ 管理業務が変わることはない
- ・ 管理業務の ICT 化はあまり進んでいないため。
- ・ 管理業務を削って学会活動をしていた訳ではない。
- ・ 管理業務自体に変化はなかった
- ・ 管理業務自体に要する手間は変わらないため
- ・ 逆に会議が増えたと思います。
- ・ 具体的に変化は感じない
- ・ 効率が良くなっていると言い切れない。
- ・ 行う業務は同じだから。
- ・ 行っていることは同じ
- ・ 在宅での仕事は増えたが、業務に変化はない
- ・ 時間的余裕ができた分、今まで時間をかけてこなかった部分に十分時間をかけるようになったため
- ・ 実態がまだよくわかりません。
- ・ 重要なことや機密に関わることはオンラインではしにくい
- ・ 出張が減るのは良いが、管理業務に影響するほどではない。
- ・ 人手不足はそんなことでは解消しない
- ・ 設問の意味が理解出来ない。
- ・ 増えた時間は研究に充当するため。
- ・ 対面の会議とオンラインの会議はどちらも一長一短があり優劣はつけがたいと思う。
- ・ 大きな変化を感じていません
- ・ 直接関係がない
- ・ 東京まで行かないで済む会議が増えたことは効率的である。
- ・ 特に影響はなかった。
- ・ 特に管理業務そのものには影響ありません。
- ・ 良くなった点と悪くなった点の両方があり、一概には判定困難だと思います。
- ・ 良くも悪くもなく「変わらない」から。

#### \*\*悪くなった

- ・ オンラインでの会議は設定されやすいため、管理業務時間が制限される。
- ・ オンラインでの学会参加の扱いがグレーであるため。
- ・ オンラインではインタラクティブにならない。
- ・ オンラインでは講義者の思いが伝わりにくい
- ・ オンラインの便利さで会議回数、時間が著増している。
- ・ オンライン会議が膨大な量になった。
- ・ オンライン方式の採用によって表面的な評価が増えた。
- ・ コミュニケーションが取れない

### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ スタッフとのコミュニケーションが希薄となり、スタッフの抱えている思い等に気づくのが遅れ、離職が増える
- ・ メールのみで業務依頼が増えた気がする
- ・ 意思疎通がしにくくなった
- ・ 会議が増えることにより、働き方改革と逆行するような夜の会議が増え、常に会議漬けになっている。
- ・ 会議の出席率が高まったが、その分時間がなく準備を整えて参加できていない。
- ・ 会議の数が明らかに増えた
- ・ 管理業務がかなり増えて、時間を取られるようになった。
- ・ 業務量が増えた
- ・ 勤務時間外での管理業務が増えたため
- ・ 雑用が増えた
- ・ 時間が増えた
- ・ 準備等の業務量増加
- ・ 医局員との連絡が取りにくくなった。
- ・ 人的交流から得られるものは、対面で行ったときの方が大きいので。
- ・ 相互理解は浅くなり、回数ばかりが増えた感がある。
- ・ 対面での会議の減少により生の情報が減少した
- ・ 直接表情をみたりすることなどコミュニケーションが難しくなった。
- ・ 非管理側と直接面会する時間が減り、情報の共有量が減少した

#### 主任教授・女性

##### \*\*良くなった

- ・ 移動につかっていた時間を業務にあてることができる。
- ・ 移動時間が無くなったため、管理業務に支障をきたすことが減った。
- ・ 会議をオンラインで行えるので移動時間などが減った
- ・ 会議時間の短縮化、リモート参加により移動時間が無用となった
- ・ 研究室にいる時間が長くなった
- ・ 参加に関与する時間が減少した分、その時間を管理に充てることができる。
- ・ 時間の余裕

##### \*\*変わらない

- ・ レジリエンスに欠ける医師の増加
- ・ 管理に要する時間は講義や会議とリンクしない
- ・ 今まで会場へ移動していたのが、オンラインになっただけなので変化はない。
- ・ 直接関係しない。
- ・ 必要な管理業務は変わらないため

##### \*\*悪くなった

- ・ 会議が増えた
- ・ 雑務が急増

#### 教授(主任以外)・男性

##### \*\*良くなった

- ・ それに使える時間が増えた。
- ・ ネット環境が充実したことにより、情報のアップデートが時間・場所の制約を受けないで可能になった。
- ・ わざわざ会議室に足を運ぶ必要がなくなり、時間を効率的に使えるようになったため。
- ・ 移動が少なくなり時間を有効に使える
- ・ 移動に必要な時間が節約できる。
- ・ 移動時間、待ち時間が減った
- ・ 移動時間が減少したぶん、まわすことができました。
- ・ 移動時間の大幅な減少。とくに、地方では有難い。
- ・ 移動時間を必要とせず、会議等へ参加が可能となり、診療と研究を並行して行える機会がましました。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・遠隔病院とも簡単に情報交換できるようになったため、管理業務は格段に改善されました
- ・遠方の会議に出席する必要性が減った
- ・会議では移動時間が無くなり、効率化が図れる。
- ・会議にオンラインで参加できるので移動時間がなくなりました
- ・会議に参加しやすくなった
- ・会議の出席がしやすくなった。
- ・会議への移動時間を少なくすることができ、その分、管理業務に使えた。
- ・会議も多いので現地に行かないのは助かります。
- ・会議や学会の開催場所への移動がないため、病院を離れなければならない時間が減少した。
- ・会議を欠席する割合が減少した
- ・開催地に向かう必要がなくなった。
- ・外出の頻度が減るだけなので、良い。
- ・学会などは現地に行く必要がなくなったので、時間の節約になり、管理に時間を費やすことができる。
- ・管理に関するウェビナーに参加できたため
- ・管理業務にかんする会議にも参加できるようになった。
- ・休む必要がなくなることが増えた。
- ・現場に行かなくてすむから。
- ・現地での出席が減ったのは良かった
- ・現地参加による移動時間がなくなることが大きい
- ・時間が有効につかえる(移動時間の短縮)
- ・時間を効率的に使用できるようになったため。
- ・時間的制約は少なくなった
- ・時間的無駄が減った。
- ・時間的余裕ができた
- ・出張が減ったため、診療業務への参加は容易となった
- ・出張せずに現場にいることができるようになった
- ・常勤場所を離れなくて良い
- ・電子化の手段と種類が増えたので。
- ・無駄な時間が減った

#### \*\*変わらない

- ・あまり変わらないが、病院にいる機会が増えた。
- ・オンラインでは休日や夜の会議が増加している。これらの時間で管理業務が必要となった場合は会議は欠席となる。以前と変わらない。
- ・オンラインの講義や会議は、管理業務と特別関連はない。ただし、参加できる会議が形式的に多くなり、業務を圧排しつつある。
- ・オンラインは参加できているかが疑問
- ・オンライン自体は良いが、無駄な会議は増えるかもしれない
- ・グレーな要素が比較的明確であるため。
- ・この分野との関係性はないのではないのでしょうか？
- ・それが管理業務にどのように影響するのかわからない。
- ・タイムスケジュールが変わるわけではないから。
- ・影響は少ない
- ・会議に時間を取られる
- ・学会前後の移動が不要になった分、診療を含む業務に時間が割ける様になったが、管理業務自体には顕著な変化は無い。
- ・管理業務にも影響はない
- ・管理業務にも質的な影響を与えていないと考えます。
- ・管理業務の量はそれほど変わらない。
- ・管理業務時間は不変
- ・元々週後半には、系列病院で非常勤外来業務についており、管理業務はさほどなかったから。
- ・拘束時間に変化はないから
- ・最初は違和感ありましたが、慣れました。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 仕事量は、変わりません
- ・ 時間が自由に取れるようになった
- ・ 自分が中心になるような会議については、結局現場参加していることが多いので。
- ・ 診療業もと同様で、学会が現地であっても管理業務に影響を生じないようにしていたから。
- ・ 大きな障害はなかった。
- ・ 大きな変化を感じておりません
- ・ 同様のことができている
- ・ 特に変わらないと思うから
- ・ 変化はあったが、どちらともいえない。良い面と悪い面がある。
- ・ 良い点と悪い点とが混在する

##### \*\*悪くなった

- ・ オンライン会議は場所と時間を選ばないから
- ・ どの形態の会議も管理業務に支障をきたすので、そういった意味では変化はない。しいて言えば、会議を行いたい側は、無尽蔵にオンライン会議などを設定できるため、参加させられる側は、会議を断りにくい分、時間が割かれ管理業務に支障をきたす。
- ・ 画一化が進むため
- ・ 管理が不十分となった
- ・ 管理職としての業務が減りました。
- ・ 議論の停滞
- ・ 参加など手続きが煩雑になった
- ・ 周りの動きがわからない
- ・ 上司の理解度によっては、行きたい学会に行きづらくなる若手医師が増えた。
- ・ 真意が伝わらない。
- ・ 他学・他院の方々と、オンライン参加などでは交換することのできない「より緻密な裏情報的情報」の交換ができなくなった。
- ・ 大学教育は対面でやるのが原則
- ・ 量が増えた

##### 教授(主任以外)・女性

##### \*\*良くなった

- ・ オンラインで済む会議が多くを占めるため。
- ・ オンライン会議などで参加しやすくなった
- ・ わざわざ移動しなくてもよくなった
- ・ 移動が減った
- ・ 遠隔操作ができる点はありがたいです。
- ・ 効率的になった。
- ・ 資料の事前提示や実際に出席しなくいいとで内容の理解、負担の軽減につながっている。
- ・ 時間の節約
- ・ 必要資料の所在の把握になじんできたため、閲覧する頻度が増えた

##### \*\*変わらない

- ・ いつでも電話やメールが繋がるので
- ・ 移動の時間が、管理業務にあてざるをえない

##### \*\*悪くなった

- ・ かえて様々な会議が設定されやすくなった
- ・ 学会や行政関連のオンライン会議や学会 e-learning の作成が増え、自分の時間が取れない。
- ・ 微細な連携が取れなくなった。

##### 准教授・男性

##### \*\*良くなった

- ・ 現地に行かなくて良いため移動の時間負荷が減った。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 仕事量は、変わりません
- ・ 時間が自由に取れるようになった
- ・ 自分が中心になるような会議については、結局現場参加していることが多いので。
- ・ 診療業もと同様で、学会が現地であっても管理業務に影響を生じないようにしていたから。
- ・ 大きな障害はなかった。
- ・ 大きな変化を感じておりません
- ・ 同様のことができている
- ・ 特に変わらないと思うから
- ・ 変化はあったが、どちらともいえない。良い面と悪い面がある。
- ・ 良い点と悪い点とが混在する

##### \*\*悪くなった

- ・ オンライン会議は場所と時間を選ばないから
- ・ どの形態の会議も管理業務に支障をきたすので、そういった意味では変化はない。しいて言えば、会議を行いたい側は、無尽蔵にオンライン会議などを設定できるため、参加させられる側は、会議を断りにくい分、時間が割かれ管理業務に支障をきたす。
- ・ 画一化が進むため
- ・ 管理が不十分となった
- ・ 管理職としての業務が減りました。
- ・ 議論の停滞
- ・ 参加など手続きが煩雑になった
- ・ 周りの動きがわからない
- ・ 上司の理解度によっては、行きたい学会に行きづらくなる若手医師が増えた。
- ・ 真意が伝わらない。
- ・ 他学・他院の方々と、オンライン参加などでは交換することのできない「より緻密な裏情報的情報」の交換ができなくなった。
- ・ 大学教育は対面でやることが原則
- ・ 量が増えた

##### 教授・女性

##### \*\*良くなった

- ・ オンラインで済む会議が多くを占めるため。
- ・ オンライン会議などで参加しやすくなった
- ・ わざわざ移動しなくてもよくなった
- ・ 移動が減った
- ・ 遠隔操作ができる点はありがたいです。
- ・ 効率的になった。
- ・ 資料の事前提示や実際に出席しなくいいとで内容の理解、負担の軽減につながっている。
- ・ 時間の節約
- ・ 必要資料の所在の把握になじんできたため、閲覧する頻度が増えた

##### \*\*変わらない

- ・ いつでも電話やメールが繋がるので
- ・ 移動の時間が、管理業務にあてざるをえない

##### \*\*悪くなった

- ・ かえて様々な会議が設定されやすくなった
- ・ 学会や行政関連のオンライン会議や学会 e-learning の作成が増え、自分の時間が取れない。
- ・ 微細な連携が取れなくなった。

##### 准教授・男性

##### \*\*良くなった

- ・ 現地に行かなくて良いため移動の時間負荷が減った。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ オンラインであれば、現場管理での指示が出しやすい
- ・ オンライン会議が増えたから
- ・ ただ参加するだけの会議では、負担が軽減している。
- ・ はっきり言って意味のないような、どうでもいい会議をオンラインで行えるようになったから。パソコンをつけているだけで会議に参加した体をとれることで、手元で別の仕事ができるから。
- ・ リモートでできることを活用することで業務量を減らすことができた
- ・ 移動が不要で利便性が高い。一方、時間内の会議が増加は問題。
- ・ 移動などの時間が削減できるため。
- ・ 移動にかかると時間が激減した
- ・ 移動時間が軽減できて、スムーズに対応できるようになった部分もある。
- ・ 移動時間の削減や資料の電子的な事前配付の徹底などが進み管理業務がしやすくなった。
- ・ 移動時間を考慮せずに済むことで、学会の為に数日間休む必要度が減少した。場所に関わらず、参加実績を取れるようになった。
- ・ 移動中にも会議に参加できるようになり、外勤先でも参加できるため。
- ・ 医局会などに参加し易い環境
- ・ 院内の会議に参加しやすくなりました。
- ・ 何かと多い書類やメール処理に当たる時間を確保しやすくなった。
- ・ 会議、研修参加の負担が減った。参加しやすくなった。
- ・ 会議・講義拘束時間の減少は管理業務の改善につながる
- ・ 会議が簡単に開けるようになったので、やりやすくなったと思いますが、その一方で会議がものすごく増えてしまう大変さがあります。
- ・ 会議などで集合する時間や手間の削減。
- ・ 会議に移動の手間がなくなった。
- ・ 会議に参加しやすくなった。
- ・ 会議に費やす時間が減った
- ・ 会議のオンライン化による負担減
- ・ 会議は片手間に行えるものも増えたため負担は軽減されたが、もしそうであればそもそも参加する必要があるのか疑問な会議も多い。
- ・ 会議への参加が楽になった
- ・ 会議をするのが容易になった
- ・ 会議参加のための交通時間が無くなったことが大きい
- ・ 学会に参加せず、院内にいる医師の数が増えた
- ・ 学会参加と並行して行える。
- ・ 学会参加のための移動の時間が節約できたため
- ・ 気軽に空いた時間で参加できるため
- ・ 勤務日の調整がしやすくなった
- ・ 研修の講義もオンデマンドになったので、業務と重なる事が減った。
- ・ 現地に赴く必要がないため、学会参加の合間に管理業務ができる
- ・ 効率化された。
- ・ 効率的な学会参加ができるようになり、他の業務に時間を割けるようになった
- ・ 効率的になった。
- ・ 効率的に参加可能になった
- ・ 在室時間が長くなるから
- ・ 参加できる会議は増えたように思います
- ・ 参加のための移動時間が、管理に回せるため効率が良い。
- ・ 参加者が増加したため
- ・ 時間の縛りが減った。
- ・ 時間の融通が利くようになった
- ・ 職場に不在となる時間が減った
- ・ 職場を不在にする必要がないので、管理業務上の打ち合わせがしやすい。
- ・ 短時間で済むようになった

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 東京への1時間の会議のための出張は当面していない。よくなった。
- ・ 東京日帰り出張がなくなって、勤務に余裕ができた。
- ・ 病院から離れなくても参加できるので、管理は楽になった。
- ・ 不必要と感じていた会議がオンラインやメール審議になって、無駄な拘束が減ったのはいいことだと思う。(質問42の理由と同じ)
- ・ 無駄な移動時間がなくなった
- ・ 無駄な会議が減ったように思う
- ・ 無駄な出張が減った
- ・ 無駄に会議やセミナーに集まる事が減ったため
- ・ 余計な時間が省略でき、様々な業務に余裕ができる。

#### \*\*変わらない

- ・ 「会議」は管理業務の一つなので、会議の数が減らなければ業務量は減らない。
- ・ 管理業務にあまり従事していない為
- ・ オンラインはあまり関係ないかなと思いました
- ・ オンライン会議が大して進んでいない
- ・ オンライン前は管理業務を優先して学会に不参加だったため。
- ・ さほど管理業務が厳しくないため。
- ・ そこまでの影響力はない
- ・ そもそも管理は最優先事項であり、増やしたり、減らしたりするものではないから
- ・ もともとあまり管理業務が多くない
- ・ もともと管理業務に携わっていない。
- ・ やる事自体は変わらない
- ・ よくわかりません。
- ・ 影響しなかったから
- ・ 管理すべきことは変わらない
- ・ 管理との直接的な関係がわかりません。
- ・ 管理の業務内容は変わらない
- ・ 管理業務には影響はない。
- ・ 管理業務には直接関わらない。
- ・ 管理業務は、また別
- ・ 管理業務はほとんどないので
- ・ 管理業務は主として時間外や休日に行っているため、以前とさほど変わらない(役職変更に伴う業務量の増加はあったが)。
- ・ 管理業務は特に変化なし
- ・ 管理業務は必要なことのみをやっているから
- ・ 管理業務自体はオンラインの有無で変化はない。
- ・ 関連性が不明なので
- ・ 基本的に大きな変化はないですが、オンラインではしごがし易くなっています。
- ・ 業務量は変わらないため
- ・ 研究、教育の時間野節約にはなるが、だからといって管理業務には全く影響ない。
- ・ 元々管理業務と学会参加等にかかる時間は競合していなかったため。
- ・ 最近はオンラインの会議は殆ど無い
- ・ 支障ないため。
- ・ 時間の節約・有効利用が可能となった。
- ・ 時間的には、あまり変わらないと思うので。
- ・ 実感がない
- ・ 出勤せざるを得ないから
- ・ 出張の減少は認めたが、特に管理業務に変化はない。
- ・ 相変わらず対面会議を要求する部署がある
- ・ 地方大学の場合はオンライン会議により出張が減ることで業務に換算されない出張時間が減るのは良いことと思います。
- ・ 直接関連がないため

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・特に業務に変わりなし
- ・特に変わった印象はない。
- ・比較しにくい
- ・必要なものは必要で変わらない
- ・変化する理由が見当たらない
- ・変化を感じない。
- ・要する時間にかわりない
- ・良い点と悪い点が双方存在します。良い点は出向せずに済むため、時間が有意義に使える。悪い点は会議参加等のオンライン化により対面により得られる情報は減少した。

##### \*\*悪くなった

- ・ICT化により会議が増加した
- ・オンラインだと参加したくない会議に参加できてしまう。
- ・オンラインは高齢化社会において、根付いていません 少子高齢化対策という政治的課題の解決の優先性が高いと思います
- ・まだ紙とオンラインが混在し逆に業務が多くなった
- ・意思疎通が不十分である
- ・移動時間が減ったがその分管理業務に回るため
- ・会議が増えました
- ・学会が多すぎる。
- ・管理しにくい
- ・管理業務そのものがかなり増えた
- ・業務をこなしながら学会参加するので、仕事が倍になる
- ・時間の余裕がなくなった
- ・時間外に自宅での会議を設定される
- ・情報セキュリティに関する仕事が増えた。
- ・情報収集がやりにくくなった

##### 准教授・女性

##### \*\*良くなった

- ・くだらない会議は他のことをやりながら参加できる
- ・リモートでの会議参加で時間の節約につながる。
- ・わざわざ遠くに出向く必要がなくなった。
- ・移動時間が少なくなったので、管理業務に充てられる時間が増えた。
- ・移動時間が不要になった。
- ・遠方に出かけなくてよいから
- ・会議に参加しやすくなり時間も短くなった
- ・講演参加が容易になった
- ・時間が自由に使えるため
- ・時間が有効に使えるから
- ・集合する必要のない会議はオンラインでできるようになった。
- ・代理を立てなくて良い。
- ・不在が以前より減ったため。
- ・報告事項の会議はWebで充分
- ・無駄な移動が減った

##### \*\*変わらない

- ・そもそも管理業務はない
- ・メリットデメリット両面ある。例えば、google form の普及で勉強会の出欠は取りやすくなった。しかし本当に出席していたかの実態は分からない。
- ・もともと管理業務はそれほど負担ではなかったから。

### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 会議はなかなか進歩していない
- ・ 学会参加の扱いが曖昧になる。
- ・ 管理業務に影響はない
- ・ 業務量自体は変化を感じていません
- ・ 大きな変化はないため

#### \*\*悪くなった

- ・ 会議が増えて、結局時間的な制約が増えた気がする。
- ・ 会議時間が長くなり、有休中でも参加できるようになった
- ・ 対面での議論が減った。

#### 准教授・回答しない

#### \*\*良くなった

- ・ 移動時間が減少した
- ・ 会議のための移動時間が節約できるようになった。

#### \*\*変わらない

- ・ 管理業務が少ない

#### 講師・男性

#### \*\*良くなった

- ・ アナウンスする手間が簡単になった。
- ・ オンラインツールによって職場や同僚とのコミュニケーションがしやすくなった。
- ・ オンラインで全員と連絡が取りやすくなった。
- ・ オンラインと管理業務を並行して行える場合があるから
- ・ オンライン会議が増え、移動の手間は少なくなっている。
- ・ オンライン会議で現地に行かなくて、時間短縮となり本当に助かっています。
- ・ オンライン通知が可能になったこと
- ・ オンライン面談
- ・ それぞれに良さがあります
- ・ やりやすい面は増えた。
- ・ より多くの管理が行えるようになった
- ・ 移動、宿泊せずに済むため、休むことなく管理ができるため。
- ・ 移動コストの低下
- ・ 移動にかかる時間が減ったから
- ・ 移動の時間が減り、管理業務に従事する時間が増えたため
- ・ 移動時間が削除でき有益と思われるため
- ・ 移動時間などがなく、管理業務に費やせる時間が増えるから。
- ・ 移動時間の減少で自由になる時間が増えた
- ・ 移動時間の短縮。勤務時間が損なわれない。
- ・ 移動時間を管理業務に充てられる
- ・ 医師すべてを現地へ派遣する必要がなくなった。
- ・ 遠方に出向く必要がなく、管理業務に時間を割ける。
- ・ 会議がオンラインとなり、効率が上がった。
- ・ 会議がオンラインになったことで利便性が向上した
- ・ 会議が減った
- ・ 会議における時短効果があると思う。
- ・ 会議に参加しやすくなったから
- ・ 会議に参加する必要がなくなった。
- ・ 会議のために外勤先から慌てて戻ってこなくてもよくなった。
- ・ 会議の多くがオンラインで可能となり、時間と手間が削減できた。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 会議はオンラインでよい
- ・ 会場への移動時間が節約できる。
- ・ 学外出張が減りました。
- ・ 管理業務に関するものはあまりオンライン化が進んでいないが、それでも会議がやや減った。
- ・ 管理業務のための会合の自由度が上がったため
- ・ 管理業務の会議に費やす時間を減らすことができた
- ・ 現地に行かずに行え、移動時間など省略できた。
- ・ 現地に行かなくてもよいため、時間的余裕ができた。
- ・ 現地に赴く時間が省略された。
- ・ 現地参加が不要になり、移動の時間を管理業務に振り替えることができる
- ・ 効率が上がった
- ・ 効率的になった部分はある
- ・ 細かい予定を調整しやすくなったため
- ・ 在学時間が長くなることで管理業務の時間がとりやすく、会議出席なども行いやすくなった。
- ・ 時間の節約になり負担が軽減される。移動時間等。
- ・ 自宅からオンラインで参加できるため、無駄な当院を削減できる
- ・ 自分の隙間時間に視聴することもできるため
- ・ 出席できるものが増えた
- ・ 出張がなくなり、仕事の時間がとれるようになった。
- ・ 出張が減ったので、移動時間が短縮した。
- ・ 出張で不在となる職員数は減り、勤務管理が容易になった
- ・ 診療後に参加できる会が増えた
- ・ 選択肢が増えたため。
- ・ 他施設の先生方や他分野の先生方と相談しやすくなったから。
- ・ 対面よりオンラインの方が会議に参加しやすい。
- ・ 地方からでも参加できるので意見交換しやすい
- ・ 日程の調整などをフォームズなどでできるようになった。
- ・ 病院内で臨床以外に費やす時間的な余裕ができた。
- ・ 不要な会議に参加する必要がなくなった。
- ・ 無駄が省けるようになった
- ・ 無駄な会議が減って参加しやすくなった。
- ・ 無駄な会議のための出勤が減った
- ・ 無駄に会議のためだけに移動する必要なく、自宅からも参加できるようになった
- ・ 様々な委員会がオンラインで行われ、時間の拘束が少なくなった。
- ・ 録画授業などで時間が確保出来た

#### \*\*変わらない

- ・ あまり印象がないから
- ・ あまり影響がない。
- ・ あまり関連はない。
- ・ オンラインだからと言って夜間や外勤中などに会議を設定するのは止めて欲しい。
- ・ オンラインと管理業務に特に関係はないと思われる
- ・ オンラインを活用できていない
- ・ かえって会議が増えた気がする
- ・ しっかりしたデバイスがあるなら
- ・ まだ実感がない。
- ・ メリット、デメリット双方があり、良悪のいずれとはまだ決めかねる。
- ・ もともと管理業務が少ない
- ・ 影響を感じないから。
- ・ 会議の開催が便利になった。
- ・ 会議もオンラインになるとメリットも合えばコミュニケーションが減るデメリットもある。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 会議や書類に費やす時間は従来より減ったが、未だに制度やインフラが不十分の点がある。
- ・ 感覚的に変わらないように感じる
- ・ 管理とオンラインはあまりかかわりが無いため
- ・ 管理には関係ないと思います
- ・ 管理に対面が必要なことも多いため
- ・ 管理は現場でないと実践できないから。
- ・ 管理をしてないから
- ・ 管理業務がオンライン化の恩恵を受けづらい
- ・ 管理業務とオンラインでの講義や会議・学会参加は関連性が乏しい。
- ・ 管理業務に充てる時間は変わらないから
- ・ 管理業務にも直接変化はありません。
- ・ 管理業務に影響なし。
- ・ 管理業務に関する講義がもともと少ないため。
- ・ 管理業務に関わっていない。
- ・ 管理業務はウェブだけでは無理
- ・ 管理業務はオンラインに馴染まないため。
- ・ 管理業務は実際に手を動かさなければならぬことが多く、手法もそれほど変わらないので、オンラインでの講義、会議、学会から学んで生かせることは多くないと考えます。
- ・ 管理業務も時間外で対応することが多いため
- ・ 管理業務も並行して増加している印象がありますが、変化についてはよくわかりません
- ・ 管理業務自体は変わらないかもしれませんが、医師不在が減少して、マネージしやすくなっていると思います。
- ・ 関係性がないと思うから。
- ・ 求められる管理業務に変化はないから。
- ・ 業務量は変わらない
- ・ 決済がスピードアップしたものが多い。
- ・ 元々ほとんど影響がない
- ・ 元々管理に仕事が少ないので
- ・ 減るわけではないため
- ・ 現状では実感がない
- ・ 現地までの行き来、宿泊をしなくてもよくなったものの、学会への参加意欲は低下した
- ・ 今のところよくわからない
- ・ 今後医師の働き方改革が進み規制が強化されれば、管理業務負担が増悪する可能性が高い。
- ・ 参加しやすくなったが、取捨選択が難しくなった。
- ・ 実感できるほどの変化はない。
- ・ 手のかかる管理業務をしていないから。
- ・ 出張回数が減り、不在にすることが減った。
- ・ 地方から中央に行く移動時間はへったので、その分事務作業をする時間は増えましたが、仕事もふえたので、あまり変わらない印象です。
- ・ 直接影響受けるものではないため
- ・ 直接話す機会がへると細かい雰囲気などがわからない。
- ・ 特に影響は受けていない。
- ・ 特に変化はなかった
- ・ 特に理由はありません。
- ・ 便利ではあるし、時短にはなる事が多いが、本当に大事な内容の際は問題点もある。取捨選択が重要。
- ・ 本学ではオンライン会議自体が感染拡大時の一時しのぎとして認識されているため

#### \*\*悪くなった

- ・ オンラインで学会に参加する場合は出張(不在)とみなしてもらえず普段の業務をする必要があり、学会にフルに参加できないため。
- ・ オンラインの講演は参加していても真剣に聴講しないことが多い
- ・ オンライン会議が多い

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・オンライン不得意な先生がいると、合わせるのが大変
- ・コロナ関連の管理業務が膨大になった。
- ・レポート提出が増えるのでそのチェックに時間を割かれる
- ・会議がいつでもオンラインで設定される(事前検討方式会議の導入が望ましい)
- ・会議が増えた
- ・学会等を開催する側の設備準備が大変
- ・業務が増えている
- ・選択肢が増えたことにより実情の把握・管理は難しくなった
- ・大量の書類がきて休みの日まで書類作業をしている。
- ・誰がどこで何をしているのかが分かりにくい。
- ・燃え尽き
- ・本来ならば現地参加のために欠席が可能であったら会議などへの出席頻度が格段に増加したため。
- ・夜間の会議が増え、結果的に時間外労働が増えた

#### 講師・女性

##### \*\*良くなった

- ・ウェブ会議やメールですませる機会が増え、対面のための移動や時間の確保が不要になり、効率がよくなった。
- ・オンライン講習が増えたため
- ・オンライン参加により、出張等による人手不足が解消されやすくなった。
- ・わざわざ現場に向かなくても家事と並行してできることが増えた。
- ・移動に時間を取られなくなった
- ・移動の時間や不在にすることが少なくなった。
- ・移動時間が省ける
- ・院内にいる日が増えた
- ・会議が早く終わる
- ・会議に全員が参加しやすくなった。
- ・会議のための移動が必要なくなり、効率的に参加できるようになった
- ・会議等で不在になる日が減った(かつては、日帰り出張で東京で会議出席などがあった)。そのため、医局長の仕事を誰かに頼まないといけない回数が減った。
- ・学会で現地参加しないと代診などの業務管理が不要となり楽だった。
- ・管理上の諸問題への対応に時間がさけるようになった。
- ・効率は良くなったと思う。
- ・時間の短縮
- ・時間の余裕が出来た。
- ・相談しやすくなった
- ・当番表を決める際に、出張が減ったので決めやすい。
- ・不在にならずに業務と会への参加を両立できる
- ・北海道は地理的に不便なので現地に行かなくてよいのは時間や金銭的に非常に助かる

##### \*\*変わらない

- ・あまりオンラインとは関係ないから
- ・オンラインでの管理が出来るようになると良いと思うが、現実進んでいないと思う
- ・オンライン化で事務側は効率化される部分もあると思うが、紙で提出すれば済んでいたことを、わざわざエクセルにたくさん入力させるなど、個人負担が増えた部分もある。
- ・移動がないが、参加することによって変わらないため。
- ・院内の管理業務程度にしか関わらないので、会議が会議室かリモートかでそれほど差がない。
- ・影響なし
- ・会議・学会がオンラインでも管理業務内容とは関係ない。
- ・学会に参加しやすくなったため
- ・管理と講義や会議、学会参加は関連がない
- ・管理については詳細不明

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・管理業務との直接的な関係はない。
- ・管理業務に変化はない
- ・管理業務はオンラインでも変化があまりないから
- ・管理業務量に変わりありません
- ・月に数時間捻出できただけでは管理業務に変化はない。
- ・元々管理業務にはあまり関わっていないので。
- ・試聴は管理業務外にできるから。
- ・必要な内容は変わらない
- ・変わらないと思う。
- ・良い点もあれば悪い点もあります。

##### **\*\*悪くなった**

- ・業務が増えた
- ・現場の実際をみないと判断できないこともあり、より具体的な指示が出しにくくなっていると思います。
- ・時間外での会合が増えた
- ・病院にいる時間が増えて、管理業務が増えた

##### **講師・回答しない**

##### **\*\*良くなった**

- ・移動時間が減るから

##### **\*\*変わらない**

- ・管理業務は普段からしていない

##### **助教・男性**

##### **\*\*良くなった**

- ・e-ラーニングが充実することで、診療の時間が拘束されることがなくなった
- ・オンラインできるものは増えた気がする。
- ・オンラインでのやり取りや入力フォームなどの活用が進んで、対面や紙媒体などアナログとの変換作業が省かれた。
- ・オンラインでの講演が可能となり時間を有効に使えるようになった
- ・オンラインでは通常業務を行いながらとなるため、管理業務に遅れが出ない。
- ・オンラインにより柔軟に働くことが可能なため
- ・ともかく、時間とお金の節約になる。
- ・ミーティングが開きやすくなった。ただし、時間外に。
- ・わざわざ遠方に出掛ける移動時間が不要になったから。
- ・わざわざ面談などのために遠方へ行く必要がなくなり、移動の無駄な時間が減った。
- ・移動が少なくなった
- ・移動せずに済むから
- ・移動の時間が減った
- ・移動の時間が無くなったため。
- ・移動時間がなくなったことにより他の業務に割ける時間が増えた
- ・移動時間が減ったので診療への影響が少なくなった
- ・移動時間が減り、その分時間確保ができるため。
- ・移動時間が節約されるため、代診をお願いする必要が少なくなった。
- ・移動時間が短縮できる分、時間ができた。
- ・移動時間などが短縮できたため。
- ・遠隔地からも迅速に指示を伝えやすくなる。
- ・会議がオンラインで済むため会議室への移動時間が不要
- ・会議が開催しやすい。
- ・会議などには参加しやすくなる。
- ・会議にわざわざ行く時間を節約できるようになった。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 会議のスマート化で無駄な拘束が減った
- ・ 会議への参加の負担が減った。
- ・ 会議への出席が容易になり、他の業務と融通が付きやすくなった。
- ・ 会議や学会の移動による時間が省略されたため
- ・ 会議等の時間調整が可能になった
- ・ 会議類がメール持ち回りやオンラインとなり、出張先や自宅から参加可能となった
- ・ 皆の働き方がよく見えます
- ・ 学会に行かない時間、病院で勤務できるので
- ・ 学会のために出張する機会が減ったため。
- ・ 学会会場へ直接行かないことで、学内でできる業務を並行して学会参加できる。
- ・ 学会参加・会議参加のための移動時間を診療に充てられるようになった
- ・ 学会参加のために休まなくて良くなったから。
- ・ 学会出張や時間外での研究会参加などが減ったので、その分時間ができた。
- ・ 楽になった
- ・ 管理すべき現場に居ながらにして学会に参加できるから
- ・ 管理業務に含まれる会議は、オンラインになることで負担が軽減した。
- ・ 簡易的なアクセス
- ・ 休暇をとることが少なくなり、診療の穴は無くなった
- ・ 旧来の講習会参加での出席確認、ミニテストなどは、居眠りしていようができるもので、意味をなさなかった。業務多忙の中現地参加を強いる講習会等なくなり、E-learning の活用普及が進み、非常にやりやすくなった。
- ・ 業務カンファレンスはオンラインで良くなった。患者症例については遅々としてすすまない。
- ・ 勤務地にいながら参加できることが、有事にも対応しながら参加できる
- ・ 隙間時間を有効に使える
- ・ 現場に当てる時間が増えた。
- ・ 現場を離れずに参加できるから
- ・ 現地の学会に参加する医師が減少した
- ・ 効率化
- ・ 合間に参加できるので助かります
- ・ 参加しやすい。資料がデータ化された。
- ・ 参加可能な会議が増えた
- ・ 参集しなくても良いので会議に参加しやすい。
- ・ 仕事を休む必要がなくなったため、管理はしやすい
- ・ 時間が取れる
- ・ 時間と場所に縛られなくなった。
- ・ 時間の自由度が増した
- ・ 時間は有効に使えるようになった
- ・ 時間を節約できる
- ・ 時間を有効活用できる。
- ・ 時間的余裕が出来た。
- ・ 出張が減り、そのぶん院内での管理業務にあてる時間が保たれるようになった。
- ・ 出張が減り、現場に留まれるようになったから。
- ・ 出張が減るだけでだいぶ楽。
- ・ 出張しなくても参加出来るため、不在時間が少なくなった。
- ・ 出張による移動時間が減り、他の業務に充てられる時間が増えた
- ・ 出張時間が管理業務に回せる
- ・ 対面よりは準備が楽
- ・ 大学にいる時間が長くなり、目が届くようになった
- ・ 短距離だが会議室への移動がないと楽
- ・ 聴講が必須とされるセミナーをオンデマンドで個人のタイムスケジュールで聴講できるようになり、時間のフレキシビリティが拡張した。
- ・ 長距離移動が減り、時間を確保できるようになった

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 直接会場まで行く必要がないため
- ・ 直接集まる必要性を感じないような委員会に参加しなくても良くなった。
- ・ 内容的にオンラインでも十分なことが多く、参加しやすくなるため。
- ・ 日常業務を行う場所から離れる必要性が減った。
- ・ 病院にいて管理業務の合間に学会参加もできる
- ・ 不必要な会議がオンラインで済むようになった
- ・ 不必要な現地会議が減った
- ・ 不要な出勤が減り、休むことへの抵抗が減る
- ・ 便利は確実に向上した
- ・ 無駄がへった。
- ・ 無駄な移動がない分時間確保が可能
- ・ 無駄な会議の時に、他のことができるから。

#### \*\*変わらない

- ・ 管理に関する業務に携わる機会が少なく、実感はない。
- ・ あまりこちらには時間を割いていなかったため、デメリットが突出することもなかった。
- ・ あまり影響を受けないと思う
- ・ あまり管理していないので
- ・ あまり管理面の実績がない
- ・ オンラインでの管理業務は行っていないため。
- ・ オンラインでの講義や会議・学会参加等は診療時間以外の問題
- ・ オンラインでの参加時間が限られているため
- ・ オンラインと管理の関係性は現時点でない
- ・ オンライン化前には管理業務をしていないのでわからない。
- ・ オンライン環境がととでも管理業務に大きな変化はなかった
- ・ この点に関して、管理にあたる人間は限られており負担は軽減しない。
- ・ これまでもメールなどでやりとりしていたため。
- ・ そもそもあまり管理業務を割り当てられてないから
- ・ たいした変化はないと思います。
- ・ なぜかここはオンライン化されなかった。1番オンライン化に適していると思っていたが、管理者の中には「実の場での会議」「会議内容を定めるための会議」が好きな人がいるからなのか、診療報酬の関係かは不明である
- ・ ノウハウ不足
- ・ ハイブリット開催等による主催者側の負担もあるため。
- ・ もともと管理業務をしていない。
- ・ もともと業務が多くない。
- ・ やる事は大きく変わらない
- ・ よく分かりません
- ・ 移動の手間は省けるが、会議・web学会の数が多すぎる。対面の方が話がまとまりやすい。
- ・ 移動時間が減ったが、準備の時間が増えた。
- ・ 会議に出席する時間は変わらないため
- ・ 会議は手軽になったが、一方で無駄とも感じるオンライン会議が増えている。
- ・ 学会が現地であろうが、オンラインであろうが何かあれば携帯電話に連絡が入るのでとくにかわらない。
- ・ 管理していないのでわからない。
- ・ 管理については、もともとオンラインがメインなので、大きく変化はない。
- ・ 管理については、身近なことなので、オンラインの影響は受けていません。
- ・ 管理についてはオンラインの影響が少ないから
- ・ 管理には影響があったとは思えない。
- ・ 管理には関係ないから
- ・ 管理に関しては特に思い当たらない。
- ・ 管理の点では変化はないと思います。
- ・ 管理の内容が不明

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・管理は脳内仕事だから。
- ・管理への導入が限定的
- ・管理をしていないので変化なし、にしました
- ・管理業務がありません。
- ・管理業務とオンラインでの講義や学会との関係性は高く無いため。
- ・管理業務とオンラインの機会が増えたことは関係ないため
- ・管理業務とオンライン化には特に結びつきはないのではと考えます。
- ・管理業務については特に影響を受けていない。
- ・管理業務にはオンラインは関係していない
- ・管理業務にほとんど関与していないのでわからない。
- ・管理業務に携わったことが少ない。
- ・管理業務に携わっていない
- ・管理業務は、オンラインとは別次元の仕事と考えている。実際の現場でやるものだと考えている。
- ・管理業務は楽になったが、仕事量が増えたため、トータルとしては変わらないため。
- ・管理業務は多くないのでよくわからない。
- ・管理業務自体には大きな変化はないと思われる。
- ・管理業務自体には変化が無い為
- ・管理業務内容の質を維持する努力をしている
- ・管理者でないため
- ・業務の簡素化には貢献
- ・業務担当者が変わらないから
- ・業務内容に変化ないため
- ・携わっていないのでわからない
- ・結局 web 配信等で拘束される時間は変わらなかった。
- ・元々あまり関与していないため
- ・現時点においては、実臨床において、特別な変化はないと思われる。
- ・現状の立場ではさほど多くない。
- ・現地参加しないことで、移動に費やす時間が省かれたメリットはある。
- ・講義や会議、学会参加は管理業務時間外であるため関係ない。
- ・参加しないので不明
- ・仕事なのか自己研鑽なのかを明確に分けることが難しくなった。
- ・仕事量は変わらない
- ・時間、場所を問わず学会や会議への参加が可能になったが、それがいいことばかりではない。
- ・自分にとっては特に関連はない
- ・実際に変わっていないと思う
- ・準備などに費やす時間は変わらないから
- ・直接の議論の場が減った反面、参加できる学会数が増えたため
- ・直接的な影響はない
- ・変わっている実感が無い。
- ・役職上、もともと「管理」業務が多くない
- ・余計な会議が減った。
- ・利用していない
- ・労力は変わっていないので

#### \*\*悪くなった

- ・web 会議の利用で、コロナ感染の懸念は低くなったが、大学院生が大学に顔を出さないことが常態化し、研究の進捗や困りごとの把握がしづらくなった。
- ・オンオフがはっきりせず、学会参加も形式的になってきた。
- ・オンラインでは場の雰囲気にあわせた発言がしにくい。
- ・オンラインでは連絡が不十分になりがちである
- ・オンラインになることで移動の必要がなくなり、その結果、日頃の業務をしながら参加することになった

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ オンラインへの移行業務そのものを“管理”することは非常に難しく煩雑な業務であり、これに係る時間がかなり長くなっている。コンピューターや IT の専門家ではないので、これをサポートしてくれる部署やスタッフがいると状況は全く異なると思うが。
- ・ オンラインミーティングの事前準備など、管理業務はやや増加した印象があります。
- ・ デジタル化についていけない人が足を引っ張っている。
- ・ むしろ会議が増えた。
- ・ 医師の伝達が限定的になるため
- ・ 会議の数が増え非効率
- ・ 会場手配などの会議の準備が容易なためか、むしろ会議数が増えた。
- ・ 回数が多すぎる
- ・ 管理に関する会議が増えた。
- ・ 管理業務は増えたがオンライン会議も増えた。
- ・ 雑務が増えた
- ・ 参加証等の手続きが何かと ID、パスワードとなり、余計手間がかかっている。
- ・ 時間外ウェブ会議が普通に行われるようになった。
- ・ 時間外でも仕事が増えた
- ・ 書類や連絡がコロナ関連であまりにも多い(私は病棟のコロナ管理係であるが、はっきり言うと、本業とは全く無関係な事務的連絡の業務に振り回される)
- ・ 部下の業務内容、診療内容などの把握が困難となった。

#### 助教・女性

##### \*\*良くなった

- ・ ZOOM による会議が可能となった
- ・ いままで会議の行き来に使っていた時間などをより現場で有効に使えるのではないかと。
- ・ オンライン会議が増えて移動時間が減った
- ・ オンライン会議は時間が遅くとも家で育児しながらできるため助かる
- ・ しょうもない会議で他の業務をしながら参加できる
- ・ スタッフの出張が減ったため、当番体制に変化できにくく、管理業務はしやすくなった。
- ・ どこにいても参加できるため
- ・ マンパワーの確保がしやすい。
- ・ ミーティングに Web 参加できる
- ・ リモートで済んで楽
- ・ 移動が不要のため出張不在しなくて済む
- ・ 移動に消費する時間を削減できた。
- ・ 移動時間・費用の効率化
- ・ 移動時間が軽減し、負担が少なくなった
- ・ 移動時間の短縮により、仕事可能時間が増えた。
- ・ 移動時間の短縮により、調整すべき機会が減った。
- ・ 院内にいながらにして、医局から会議に参加できるようになり、効率がよくなった。
- ・ 遠方の方ともオンラインミーティングでコミュニケーションができるようになった
- ・ 介護育児中の職員も参加しやすい
- ・ 会議がオンラインになって参加が楽になった。
- ・ 会議が短くなった。
- ・ 会議と並行して別業務が行える
- ・ 会議に費やす時間が短縮された
- ・ 会議は簡略化できてよいのでは
- ・ 会議への参加がしやすい。出張先からでも参加できる
- ・ 会議文書も書面でなくデータ配布が多くなったので管理しやすい
- ・ 会場までの移動がなくなり時間的なロスが減っている
- ・ 開業しているの、学会で休診にしなくて済むので有り難い。
- ・ 管理に費やせる時間が増えた。
- ・ 管理の合間に参加可能なため

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 休診が減りました
- ・ 研究室で過ごせる時間が増えるため。
- ・ 現地に行かなくても済むので院内で管理業務ができる
- ・ 現地に行くための移動時間が無くなり、診療を制限する必要が無くなったから。
- ・ 効率化
- ・ 拘束時間は減った
- ・ 在宅勤務でも会議に参加できるようになり、研究や育児のための時間が増えたから
- ・ 参加がしやすい
- ・ 時間が増えた
- ・ 時間が有効活用できるようになった。
- ・ 自宅からでも自己研鑽や情報収集ができるため。
- ・ 自宅で会議に参加できる
- ・ 診療を休めないので病院から本学に行かなくてはいけない会議がある委員会はお断りしていたが、WEB 会議参加でよくなったので、男女共同参画室の室員を引き受けました
- ・ 人員が確保できる
- ・ 選択肢が増えた
- ・ 組織内のメンバー内で診療をできない時間の調整がしやすくなり、診療の抜けが少なくなるから。
- ・ 多くがオンラインで処理できるため、そのために職場に行ったり支払い手続きをしに行ったりする必要がなくなった。
- ・ 多くの会議が web になったので、遠隔から参加できるようになった
- ・ 面談等がオンラインで効率よくできた
- ・ 有休消化や休みの日に、会議のためだけに出勤する必要がなくなった。

#### \*\*変わらない

- ・ あまり影響を感じない。
- ・ あまり関わっていないため
- ・ オンラインには利点と欠点があるため。
- ・ オンラインは最近ない
- ・ オンライン化が進んでいないように思う。
- ・ コミュニケーションがとりづらい
- ・ そもそも管理業務がない。
- ・ 影響がほとんどないため
- ・ 影響なかった
- ・ 会議による時間や場所の拘束が減った。
- ・ 会議に参加しやすくなった。他施設の状況を把握しやすくなった。
- ・ 会議の為に外勤から戻らず時間効率は良くなったが、駅にあるオンライン参加できる民間のブースの利用料金は自腹
- ・ 会議はオンラインが増えても時間内であり、特に変化は感じない
- ・ 学会はオンラインのみの方が準備が楽だが、単位をとるための申請が煩雑になった。
- ・ 管理には影響がない
- ・ 管理に関わる会議等は参加機会がないので。
- ・ 管理の立場ではない
- ・ 管理は自分の都合でどうにでもなるから。
- ・ 管理業務があまりないため
- ・ 管理業務にかかる時間は同じ
- ・ 管理業務に携わっていません
- ・ 現場の管理業務量に変化はないから。
- ・ 私の関わる範囲では、オンライン会議はあまり増えていないから
- ・ 時間を拘束されるのはあまり変わらないため
- ・ 自身はそういう機会はないものの、オンラインの場合、対面でないとは分かりづらい変化(身体面・精神面いずれも)に気づきにくくなり、管理しづらい面もあると思われる。また、オンラインだと勤怠管理が難しそうだと感じる(自主性に大いに委ねられるため)。
- ・ 人の調整はオンラインでは無理
- ・ 大きく影響はない。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・特に管理業務に変化はなかった様に思います。
- ・特に思い当たることはありません
- ・特に内容や量には変化がないため
- ・普段より管理業務がまれであるため。

##### \*\*悪くなった

- ・ウェブセッティングが大変
- ・オンライン前には面識がなかったスタッフ、学生とのコミュニケーションに苦慮した。
- ・対面の IC と電話ではつたわりやすさが異なりクレームが増えました
- ・同時進行が物理的に可能となったため、仕事が増えた
- ・部下 1 名・永年勤続 37 年のみの職場は、永年勤続者であり上司と思っていない態度のため、報連相をせず、会話も無く、私には心理的ストレスが 1 年 9 か月ずっとかかっている。

##### 助教・回答しない

##### \*\*変わらない

- ・管理業務には特段の変化を感じない
- ・管理者ではないので不明
- ・特に管理業務に携わっていない。
- ・変化があったかどうか分からない。

##### 医員・男性

##### \*\*良くなった

- ・オンラインで管理業務が効率化されるようになった。
- ・オンラインで効率化している
- ・しがらみはなくなった
- ・オンライン化でフットワークは軽くなった”
- ・より多様な形態で参加が可能になったため。
- ・移動時間の短縮による。
- ・医局会はオンライン参加が可能となった。
- ・遠隔のため、移動に時間がかからない
- ・会議等のスケジュールが組みやすくなりました。
- ・学会会場までわざわざ長距離の移動をする必要がなくなったから。
- ・感染リスクを減らすことができた。効率よく業務を行えることで管理業務の時間を増やすことができた。
- ・管理会議などに参加しやすくなったから。
- ・効率よくできるようになった。
- ・参加しやすくなりました。
- ・時間節約
- ・出張を減らせたため、管理の時間が増やしやす
- ・適切に管理できる
- ・病棟にいる時間が増えたように思います。

##### \*\*変わらない

- ・オンラインで参加する機会は増えたが、現地での参加が少なくなった影響もある。
- ・まだ管理業務に携わっていないので不明。
- ・まだ年代的に管理業務に携わっていないためそこまで変化は感じていない。
- ・もともと管理業務をそんなにしていない
- ・学会参加と管理運営は直接の影響はない。
- ・管理に携わっていないため不明
- ・管理業務がないため
- ・管理業務にあまり携わらない
- ・管理業務にオンライン業務を取り入れていないから。

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 管理業務の会議はオンラインでも変わりなし
- ・ 管理業務の機会がないから。
- ・ 管理職に従事していないため。
- ・ 業務量は変わらない
- ・ 時間外での対応が減少したが量は変わらない。
- ・ 自分にとってはそれらは無関係。
- ・ 自分の業務の範囲では大きな差を感じない
- ・ 自分自身があまり管理業務に携わっていないため
- ・ 昔から集まる意義のない会議が相変わらず多い 会議が増えるだけで減らない
- ・ 大して役に立っていないから
- ・ 大学にしながら管理業務を行えるため、影響なし
- ・ 普段通り行うことがよい
- ・ 変化を実感したことがないため。
- ・ 無駄な会議を減らさないと変わらない。

##### \*\*悪くなった

- ・ Web での事務手続きが増えたため。
- ・ いつでも出来るという環境はある意味で良くない
- ・ できた時間で管理業務を行うよう同調圧力があつた
- ・ 管理業務をする側の手間が増えた
- ・ 最新情報のアップデートが困難になった
- ・ 時間が取られる。
- ・ 無駄に参加する会議が増えた

##### 医員・女性

##### \*\*良くなった

- ・ アクセスしやすくなったため。
- ・ オンラインで勉強できるから。
- ・ より多くの会に触れられるようになった
- ・ 移動しなくてよくなった
- ・ 移動にかかる手間が減った。
- ・ 移動時間短縮
- ・ 遠征が減ったから。
- ・ 子育てしながらリモートで参加しやすくなった。

##### \*\*変わらない

- ・ 「管理」業務に携わることがないため
- ・ あまり管理業務に携わっていない
- ・ 管理については、よくわかりません
- ・ 管理の定義がよくわからない
- ・ 管理業務とオンラインはあまり関係ないと思うから
- ・ 管理業務についておらず不明です
- ・ 管理業務にはあまり携わっていない
- ・ 管理業務に関わっていないから。
- ・ 管理業務に携わっていないから。
- ・ 管理業務は特にしていないため
- ・ 管理業務をしていません
- ・ 管理業務を行っていないため
- ・ 管理内容がオンラインと関係ないから
- ・ 関係ないと思います。
- ・ 元々あまり関わっていない

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・ 診療業務のサポートはオンラインでできてないのが現状であるから。
- ・ 直接的な影響はないため。
- ・ 直接的に関係がないと思うから
- ・ 特に管理として変わりはない
- ・ 特に携わっていないため
- ・ 不変と思われる
- ・ 毎日の体温入力が目倒。システムを簡略化したり変化のある時のみの入力でもいいのではと思う。

#### 医員・回答しない

##### \*\*変わらない

- ・ 管理業務がない

#### 専攻医・男性

##### \*\*良くなった

- ・ いつでもどこからでも参加できる
- ・ どこでも学会発表が聞けるから。
- ・ 移動の手間が省ける
- ・ 移動時間の短縮
- ・ 会議などに出席しやすい
- ・ 管理はしやすくなった
- ・ 趣旨とは違うがコロナが蔓延したおかげで実際に集まる会議が減ったため
- ・ 段関わらない人とも関わられるようになった

##### \*\*変わらない

- ・ あまり管理の仕事をしてないのでわからない
- ・ あまり関連はないと思う
- ・ あまり変化を感じないから
- ・ オンライン未導入
- ・ 以前を知らないので不明
- ・ 意見の集約・共有に便利なツールがたくさん出てきた反面、ディベートのスピードや細かいニュアンスの伝達については対面より劣り、これらの点が改善するほどのデバイスの発展にはまだ時間がかかりそう。
- ・ 学会などにかかる時間が短縮され時間ができたが、管理の面においてはさほど影響を与えないと考えるから。
- ・ 学会参加への準備は変わらないため
- ・ 管理業務にあまり携わっていないから分からない。
- ・ 管理業務に携わっていない
- ・ 管理業務に実感がわからない
- ・ 管理職ではないため
- ・ 緊急時は結果山どこにいても対応しなければいけないから。
- ・ 現在管理業務を行っていない。
- ・ 現時点では大きな変化は感じてない。
- ・ 現状の立場では評価できない
- ・ 行う仕事量は変わらないため。
- ・ 今年から赴任しており、比較検討は難しい。
- ・ 特に連絡手段に差はなかった

#### 専攻医・女性

##### \*\*良くなった

- ・ どこでも参加できる
- ・ 移動という無駄な時間を削減できた
- ・ 移動時間の削減
- ・ 会場に出向く時間が省けるため

#### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・会場までの移動がなくなりその分時間が避けるようになった。
- ・管理者が現場近くにいる時間が増えた

##### \*\*変わらない

- ・あまり関わってないため
- ・あまり実感がない。
- ・オンラインで影響を受けるものがないため
- ・オンライン前の実態を知らないから。
- ・オンライン増加後、育休のため働いていないので変化はわからない
- ・管理していない
- ・そもそも管理業務がほとんどない。
- ・管理義務にあまり携わっていないため
- ・管理業務に携わっていないので不明です
- ・個人情報を持ち出さないと仕事にならないので変化なし
- ・本来現地であれば参加できなかった学会にも気軽に参加できる。開催期間中に何度も動画を見ることで知識の定着をはかれる教育、研究、診療に活かせるから。今後もぜひ続けてほしい習慣である。

#### 臨床研修医・男性

##### \*\*良くなった

- ・参加しやすくなった。
- ・情報交換がスムーズに行えるため。

##### \*\*変わらない

- ・あまり実感はしてないです。
- ・管理業務にオンラインが関わらないため。
- ・管理業務には携わっておりません。
- ・機会がない

#### 臨床研修医・女性

##### \*\*良くなった

- ・時間に余裕ができるため。
- ・時間短縮ができた

##### \*\*変わらない

- ・管理業務には影響していないと考えるため

##### \*\*悪くなった

- ・いったれがどの会議にでていくか把握できない。

#### その他の医師・男性

##### \*\*良くなった

- ・移動時間がなくなるため、空いた時間を臨床や研究に当てることができる。
- ・会議の形態が変わっていくきっかけになっていく可能性がある。
- ・管理に費やす時間が増えた
- ・交通にかける時間を減らすことにつながる。
- ・自宅からの参加が可能となった
- ・出張が減少したため。
- ・職場を不在とする機会が減ったため。

##### \*\*変わらない

- ・会議の数が増えたので、オンラインになってもそれほど時間は変わらない。

### 43. オンラインでの講義や会議・学会参加等の機会が増えたことによって「管理」業務に変化はありますか【記述】

- ・管理においてはオンラインが浸透していることを実感できないため
- ・管理業務 オンラインでの入力の手間は増加
- ・管理業務にはあまり参加していない。
- ・管理業務に携わっていない。
- ・管理業務をしていないため不明。
- ・時間のゆとりができた
- ・他の仕事が増えた

#### その他の医師・女性

##### \*\*良くなった

- ・移動時間を他に使える。
- ・出張が減ったので切れ間なく管理できるようになった

##### \*\*変わらない

- ・その立場に今いないので。
- ・移動の時間は減るがオンラインで相手の状況が把握しづらい。
- ・管理業務にはあまり関わっていないため
- ・管理業務はまだ請け負っていないためわからない
- ・管理業務自体がほぼないので、評価が難しい。
- ・元々管理業務を担っていない。
- ・現在、管理業務に携わっていないため、わかりません。

##### \*\*悪くなった

- ・オンラインの設定、管理を行う業務が増えた。特に勤務時間外に行う業務が増えた。

#### その他(特任研究員など)・男性

##### \*\*良くなった

- ・出張費や移動時間がなくて済むようになった。
- ・話し合う機会が増えることは、良いことである。それでも、ムダな会議を減らす必要はある。

##### \*\*変わらない

- ・管理業務は影響なし。

#### その他(特任研究員など)・女性

##### \*\*良くなった

- ・いままでの管理方法を見直すきっかけになったと思うから。
- ・無駄な動線が減った

##### \*\*変わらない

- ・オンラインでも時間がとられることには変わらないので管理時間も変わらない
- ・さほどやってなかったから
- ・管理業務にはあまり影響はないと思います。
- ・管理業務に携わっていないので特に変化は感じない。
- ・業務量は同じ
- ・上司の指示でおこなっているの

##### \*\*悪くなった

- ・ダブルブッキング等をしやすくなり、注意が必要になったから。
- ・プライベートの時間に受講を強制させる。そのあとのテストの結果を強制的に提出させる。
- ・管理業務に携わっていないが、「感染」によって人の動きを管理しにくくなっている
- ・事前準備、確認に手間がかかる